

放課後等ディサービス自己評価表 (事業者用)

実施期間 平成 30 年 12 月 1 日～平成 30 年 12 月 7 日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースを確保しております また、運動場も備えています
	②	職員の配置数は適切であるか	○			現在、1日の最大人数を受けている為、マンツーマンとは言えませんが、配置基準に基づいて必要な有資格者を揃えています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			駐車場・玄関から療育ルーム・トイレ、施設の全てがバリアフリーとなっております
	④	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			感覚刺激の為のボールプールやスノーズレンルームを備えています また、感染予防と感染拡大予防の観点から、毎日の酸性水での拭き掃除を徹底しています
業務改善	①	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画の見直しにはスタッフ全員が参加し、議事録を残しています
	②	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の他に、定期的に個別の懇談会を行い、変化していくニーズや事業所への要望に対応しています
	③	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページでの公開は今回が初めてですが、今後継続していきたいと思っております
	④	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		必要に応じて、第三者委員による評価を行っています
	⑤	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修会の他にも、外部の研修会への参加や、部署内の勉強会を適宜行っています
適切な支援の提供	①	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			支援専門員や支援学校、関係事業所等からの情報収集に努め、スタッフ全員でアセスメントを行い支援計画を作成しています
	②	児童発達支援ガイドラインや放課後等ディサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定を作成しているか	○			子どもの状態に合わせた支援計画作成しています
	③	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			子どもの年齢・発達・身体状況に合わせて、個別・集団の活動を支援計画にしています

④	児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に添った適切な支援が行われているか	○			スタッフ全員が支援内容を把握し行っています
⑤	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム作成時はスタッフ全員で行っています
⑥	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		季節や年間の行事を取り入れたプログラムを作成しています
⑦	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		日替わりで課題を設定し行っています
⑧	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングは毎朝行い、その日の連絡事項等を確認し合っています
⑨	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			3事業の勤務時間や利用時間が其々異なる為、支援終了後にスタッフ全員が揃うことは難しいですが、各部署毎にできるだけその日のうちに情報は共有するように努力しています
⑩	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用時の連絡帳に支援の内容等を時系列に記載し、スタッフ間で確認しています
⑪	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援専門員や保護者からの情報を通して変化していくニーズを把握し、見直しを行っています

関係機関や保護者との連携	①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にて、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			その時の子どもの状況に合わせ、主に医療職（看護師・セラピスト等）が出席するようにしています
	②	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報交換や連絡調整を適切に行っているか	○			子どもの状態に変化等があった時は、病院連携室と連携しケア内容や状態の把握に努めています また、児童発達～就学時はケア記録を作成し支援学校と密に連携しています
	③	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療ケアに対する「指示書」を主治医から頂き、毎月ケアの「報告書」を事業所から主治医に提出しています
	④	児童発達支援事業所及び放課後等サービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			支援学校とは情報共有に努めていますが、現在、保育園や幼稚園、小学校とは連携や情報共有している事例はありません

	⑤	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○			放課後等サービス～生活介護への移行時は、1～2か月の移行期間を設け対応しています
	⑥	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			地域の学校から支援学校に移る子どもに関しては、教育委員会で作成している「サポートファイル」を通して連携しています
	⑦	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	今現在は交流する機会は設けておりません 今後に関しては未定です
	⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は行っておりませんが、地域に開かれた施設運営を行うことは必要と考えています
保護者への説明責任等	①	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に説明しています また加算等により利用料に変化があった時も、適宜行ってあります
	②	児童発達支援計画又は放課後等サービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			個別懇談会時やお迎え時に、一人一人に対して説明を行っています
	③	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	特に支援が必要な子どもに関しては、支援専門員と連携しながら行ってあります
	④	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の利用中の様子は「写真を載せた連絡帳」を作成しお伝えしています また、お迎え時の保護者との会話を通して行っています
	⑤	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			其々の有資格者の助言をお伝えし支援しています
	⑥	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会研修時に多目的ルームを提供し支援しています
	⑦	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			随時、所長に報告し対応しています
	⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			1人1人の子どもの特性に合わせた方法（視覚支援等）で行っています また、保護者とはメール等も利用しています
	⑨	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事			○	日々の連絡帳を通して、行事や連絡事項を

	予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				お伝えしています 会報の発行に関しては、検討中です
⑩	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に同意書を頂いています また、個別のケースファイルは鍵付きの棚に保管し、許可なく持ち出しできないように対応しています
非常時等の対応	① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者への周知が不十分であることがわかった為、今後改善していきたいと思います
	② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎回、長期休業時の初日に「火災想定」や「地震想定」、「風水害想定」のいずれかの避難訓練を、子ども達と一緒にしています また、消防の方に来所してもらい、消火訓練も行いました
	③ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			勉強会を開くと共に、療育ルームに掲示しています
	④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			毎年年度初めに、身体拘束への説明を行い、保護者からの同意書を頂いています
	⑤ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用前のアセスメント時に保護者から食物アレルギーの有無や、内服薬服用中の摂取してはいけない食べ物等の情報を聞き取りスタッフ間で情報共有しています (今現在食物アレルギーの方はいません)
	⑥ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が発生した時は、法人の様式に記入しスタッフ全員が確認するようにしています

放課後等ディサービス自己評価表 (保護者用)

実施期間 平成30年10月29日～平成30年11月22日

配布 16名 回収 14名 (回収率 87%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	・もう少し職員数があると余裕をもってもらえるとは思いますが。それでも一生懸命してもらっています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	14	0	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	10	4	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9	4	・知らないです。 ・学校の授業であるので特に必要性が高いとは思いません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	13	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	11	0	・保護者同士がすでに友達なので保護者会はないです。 ・スタッフが学校行事にいつも来てくれます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	8	0	・わかりません。 ・苦情があるのか知りません。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0	・1人のスタッフに話したことが、スタッフ全員に周知されているかわかりません。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	8	1	

	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	6	2	・あると思うが認知していません。 ・してくれていると思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	1	・訓練したと聞いていない気がします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	0	0	・もう少し利用したいくらいです。 ・送迎をしてくれたら嬉しいです。 ・かわいがってもらって本人もリラックスできています。

ハビリテーションセンター vivre

放課後等サービス